

胸躍るシュトラウスの音楽で甦る
きらびやかなウィーン舞踏会の世界

NEW YEAR CLASSICS

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

— 宮殿祝賀コンサート —



【プログラム】

美しく青きドナウ
トリッチ・トラッチ・ポルカ

春の声

皇帝円舞曲

雷鳴と稲妻

ウィーン気質

ラデツキー行進曲 ほか

ソプラノ

エルヴィラ・ハラシュティ

指揮・ヴァイオリン

シャンドル・ヤヴォルカイ

華やかなワルツと楽しいポルカで迎える、幸せな新年の幕開け！

2026年1月10日(土)13:30開演 (12:45開場)
15:30終演

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

全席指定(税込)
一般 6,800円

9/27(土)10時～
一般発売

びわ湖ホール友の会優先予約
9/25(木)10時～
(びわ湖ホールチケットセンター電話・ネット受付のみ)

■主催:光藍社 ■協力:しがぎん経済文化センター、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

■後援:滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、BBCびわ湖放送、e-radio

■お問合せ:光藍社チケットセンター050-3776-6184(12～15時/土日祝、年末年始休み)

びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136

(10～19時/火曜休館・休日の場合は翌日、12/29、12/30、1/1～3は休館、ただし、
チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00～17:30営業)

<https://www.biwako-hall.or.jp> 【びわ湖ホール友の会は500円引き】

守山市民ホール 077-583-2532

音楽館 清水屋 075-221-0272

エラート音楽事務所 075-751-0617

チケットぴあ/ローソンチケット/イープラス

光藍社WEBでのお申込みはコチラ▶

<https://www.koransha.com/>

光藍社チケットセンター050-3776-6184

(12～15時/土日祝、年末年始休み)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。

光藍社会員先行予約

WEB:7/28(月)12時～

電話:7/29(火)12時～

※先行期間9/26(金)までは500円引き

【光藍社受付のみ】
小学生無料!「お年玉シート」

◆対象:小学生

※ご入場の際、年齢を確認させていただく場合がございます。

※チケット発券手数料はご負担ください。

※「一般」と「お年玉シート」は連席でご予約いただけます。

※枚数限定、上限枚数に達し次第、受付を終了いたします。

※前売りのみの取り扱いとなります。



新年の幕開けは、幸せを呼ぶウィンナー・ワルツ！

音楽の都ウィーン伝統の華やかな舞踏会の雰囲気そのままに、
シュトラウスの軽快な音楽と一緒に楽しみましょう！



2026年の幕開けも、やはりヨハン・シュトラウス2世。2025年は世界中で生誕200周年を祝うイベントが開催されました。特にウィーンでは、国立オペラ劇場をはじめムジークフェライン、コンツェルトハウス、フォルクスオーバーなどで1年を通じて毎週のようにイベントが開催され、著名なオーケストラやアーティストたちによって盛大に生誕200周年が祝われ、幕を閉じました。そして201年目が幕を開けますが、やはりヨハン・シュトラウス2世のウィンナー・ワルツが無ければ始まりません！

大晦日、ウィーン・ホーフブルク宮殿の大舞踏会「ル・グラン・バル」を皮切りに、3月初旬までウィーン市内では数々の舞踏会が開かれます。外は厳しい寒さですが、宮殿の中は暖かい空気と和やかな笑顔、笑顔、また笑顔。男性は燕尾服やタキシード、女性は華やかなロングドレスに身を包み、煌びやかに着飾ります。そして流れる音楽は、ヨハン・シュトラウス2世のウィンナー・ワルツをはじめとしたワルツ、ポルカ、カドリユ、行進曲。少し堅い格式の中にも、会場は楽しい雰囲気と新年を迎えた喜びにあふれます。

今年もウィンナー・ワルツ・オーケストラが、そんなウィーンの新年の香りと喜びを皆さまにお届けします。25年目を迎えるこの公演、今年はヴァイオリンの名手であるシャンドル・ヤヴォルカイを指揮者に迎え、ヨハン・シュトラウス2世さながらの弾き振りを披露します。お客様を楽しませることが大好きなエンターテイナーでありながら、超絶技巧を駆使したヴァイオリンの腕前は一級品。これまでヴァイオリニストとして何度もウィンナー・ワルツ・オーケストラに参加していた彼が、今年は指揮者としてどんなパフォーマンスをしてくれるのか、ぜひご期待ください。そして、美しい曲に合わせて踊る4人のダンサーは、ワルツでは優雅に舞い、ポルカではリズムカルなステップを踏み、多様な演出で会場を魅了します。もちろん、ソプラノ歌手の美しい歌声も聴きどころです。会場の空気を震わす気高い歌声に聴き入り、気品がありながらもときにはチャーミングに歌う仕草に、お客様は思わず笑顔になることでしょう。そして最後を締めくくるのは、会場全体が手拍子で盛り上がるお決まりの「ラデツキー行進曲」。新年の幕開けにぴったりの、観て楽しい、聴いて楽しい、最高にハッピーなコンサートです。



指揮・ヴァイオリン：シャンドル・ヤヴォルカイ

3歳からヴァイオリンの指導を受け、5歳でデビューを果たす。フランクフルト音楽院および、ウィーン国立音楽大学で学ぶ。ソリストとしてベルリン交響楽団、ドレスデン・フィル、トーンキムストラー管弦楽団、大阪交響楽団などと共演。2009年には弟アダム（チェロ）と共に、ウィーンの名高き音楽賞「ウィーン・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞。2019年11月にウィーンのコンツェルトハウスにて開催されたブタベスト・オペレッタ・ガラに兄弟でゲスト出演し、ジュール・フィッハーモニー管弦楽団と共演したジブシー音楽は各方面から好評を博した、リムスキー＝コルサコフの「熊蜂の飛行」を世界最速で演奏できると自称しており、その超絶技巧とユーモラスなキャラクターは世界各地で称賛されている。

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、ウィンナー・ワルツのルネッサンス（復興）をモットーに、シュトラウスのウィンナー・ワルツを最高の形でお客様にお届けすることを目指して結成された。日本でもすっかりお馴染みとなったサンドロ・クトゥレーロにより設立され、毎年、「ワルツへの愛と情熱」に賛同した才能あふれる演奏家が参加している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに曲によってダンサーが華麗な踊りや軽快なステップで会場を盛り上げ、ソプラノ歌手が美しい歌声で会場の空気を震わせるなど、ウィンナー・ワルツを楽しませる演出が盛り沢山なコンサートが好評を博している。25回目を迎える今回の公演では、ウィンナー・ワルツ・オーケストラのDNAを受け継ぎシャンドル・ヤヴォルカイを指揮者兼ヴァイオリニストとして迎え、ヨハン・シュトラウス2世を彷彿させる弾き振りとユーモア溢れる演出で、聴く人々を魅了する。

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいませようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2025年6月現在の予定です。諸般の事情により出演者、曲目など、公演内容が変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。最新の情報については光臨社ホームページ(<https://www.koransha.com/>)にて発表しますので、チケットご購入後は、随時ご確認くださいませようお願いいたします。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■主催者の同意なくチケットを有償で譲渡することは禁止します。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録画、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。■公演中は、他のお客様のご観覧の妨げになる行為（話し声、過度なブラボーなどのお声掛け）はお控えください。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。